

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋情報メディア専門学校
設置者名	株式会社エスシーシー

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	総合情報(大学併修)学科	夜・通信	1050	320	
	ゲーム学科	夜・通信	540	240	
	ITスペシャリスト学科	夜・通信	960	240	
	IT(情報技術)学科	夜・通信	390	160	
	ICTビジネス学科	夜・通信	420	160	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

希望者には学校備付けの「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表を閲覧させる
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	名古屋情報メディア専門学校
設置者名	株式会社エスシーシー

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	学校関係者として卒業生、企業及び学識経験者から構成される委員が、学校の自己評価結果をもとに、教育理念と目的に沿った人材育成がなされ、かつ、健全な学校運営が行われているか評価し、その評価結果を教育活動その他の学校運営改善等に活かし、学校運営の客観性と透明性を高めることを目的とする。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
中部IT協同組合 副理事長	R6. 4. 1～R7. 3. 31	業界団体役員
株式会社ハーモネット 取締役会長	R6. 4. 1～R7. 3. 31	企業委員
株式会社エスシーシー 中京オフィス長	R6. 4. 1～R7. 3. 31	企業委員
株式会社エスシーシー 部長	R6. 4. 1～R7. 3. 31	企業委員
卒業生（1986年度卒業）	R6. 4. 1～R7. 3. 31	卒業生
名古屋市熱田区在住	R6. 4. 1～R7. 3. 31	地域住民
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋情報メディア専門学校
設置者名	株式会社エスシーシー

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。 実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。 なお、シラバスの公表については、作成次第すみやかに行う。</p>	
授業計画書の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者には学校備え付けの「シラバス」を閲覧させる ・学生には学生用校内 Web サーバーで公表
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 最終評価点に対する成績評価(秀・優・良・可・不可)については、明確な点数基準を定めており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本校ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで全学生へ周知している。 また、成績の分布状況については、半期毎に通知する成績通知書に対象学科における「学年順位」を記載しており、学生は自身の成績が下位4分の1に入っていないかを把握できるようにしている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページアドレス</p> <p>https://www.ncs.ac.jp/info/pdf2024/info2.pdf</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的な IT 人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・ コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・ 倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠 及び 成績評価状況は、1 年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページアドレス https://www.ncs.ac.jp/info/pdf2024/info1.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋情報メディア専門学校
設置者名	株式会社エスシーシー

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	希望者には学校備付けの「貸借対照表」を閲覧させる
収支計算書又は損益計算書	希望者には学校備付けの「損益計算書」を閲覧させる
財産目録	
事業報告書	希望者には学校備付けの「事業報告書」を閲覧させる
監事による監査報告（書）	希望者には学校備付けの「監事による監査報告書」を閲覧させる

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	総合情報(大学併修)学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,830時間	2,640 時間	780 時間	1,410 時間	時間	時間
			4,830時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		452人	0人	15人	1人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法が統一されている。
成績評価の基準・方法
（概要） 本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価（秀・優・良・可・不可）を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。 ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる

<p>・倫理観を持って行動できる</p> <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠 及び 成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
105人 (100%)	0人 (0%)	103人 (98%)	2人 (2%)

(主な就職、業界等)

NDSインフォス(株)、NTPシステム(株)、TISシステムサービス(株)、TISソリューションリンク(株)、クリアソリューションズ(株)、サービス&セキュリティ(株)、サンテクノ(株)、セコムジャスティック(株)、デジタルミックス(株)、ナビオコンピュータ(株)、ネットワークシステムズ(株)、パシフィックシステム(株)、レックテクノロジーコンサルティング(株)、ワールドリンクシステム(株)、旭情報サービス(株)、(株)ISTソフトウェア、(株)JR東日本情報システム、(株)SCC、(株)SHINKO、(株)TMソリューション、(株)TOKAIホールディングス、(株)UACJ、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)エイチ・エル・シー、(株)エディオン、(株)オフィスメーション、(株)サニー情報システム、(株)システムリサーチ、(株)スターシステム、(株)スタイルシステム、(株)ソフトテックス、(株)ダイキエンジニアリング、(株)トーセ、(株)ビーネックスソリューションズ、(株)ビーネックステクノロジーズ、(株)フューレックス、(株)マクシスエンジニアリング、(株)ミエデン、(株)共立ソリューションズ、(株)第一情報システムズ、(株)日本ITソリューションズ、(株)日本ビジネス開発、自衛隊愛知地方協力本部、住理工情報システム(株)、日本システム開発(株)、日本情報産業(株)、富士ソフト(株)、名古屋総合システム(株)他

(就職指導内容)

就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルースタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。

(主な学修成果（資格・検定等）)

資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数
基本情報技術者試験	128人	84人	応用情報技術者試験	187人	32人
情報処理安全確保試験士試験	35人	9人	データベーススペシャリスト試験	11人	6人
医療情報基礎知識検定試験	9人	9人	SEA/J基礎	106名	67名
医療情報技師	9名	1名			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
442 人	27 人	6%
(中途退学の主な理由) 不適応・意欲欠如、学力不振、心神耗弱・疾患、就職、社会的に不適合、経済的理由、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲーム学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,840 時間	1,860 時間	540 時間	1,440 時間	時間	時間
			3,840 時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人	94 人	0 人	5 人	1 人	6 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法が統一されている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価（秀・優・良・可・不可）を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																											
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																								
38人 (100%)	0人 (0%)	30人 (79%)	8人 (21%)																								
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>(株)光和マイクロプロジェクト、(株)フューレックス、(株)アウトソーシング、(株)マーキュリー(株)共進ペーパー&パッケージ、(株)アルプスビジネスサービス、(株)日本ビジネス開発、UTコネクスト(株)、(株)メイケイ、(株)トップ、(株)エービーシー・ジャパン、東亜合成(株)(株)ツリーベル、(株)ミエデン、(株)日本トラフィックサービス、(株)メイテックフィルダーズ、(株)SCC、(株)東海シーオーエーエス、groxi(株)、Evand(株)、(株)スタイルシステムNDSインフォス(株)、エヌエス・テック(株)、ナショナルソフトウェア(株)他</p>																											
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルースタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。</p>																											
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本情報技術者試験</td> <td>23人</td> <td>19人</td> <td>応用情報技術者試験</td> <td>19人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>データベーススペシャリスト</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>マルチメディア検定ベーシック</td> <td>33人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>マルチメディア検定エキスパート</td> <td>35人</td> <td>3人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数	基本情報技術者試験	23人	19人	応用情報技術者試験	19人	2人	データベーススペシャリスト	1人	1人	マルチメディア検定ベーシック	33人	25人	マルチメディア検定エキスパート	35人	3人			
資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数																						
基本情報技術者試験	23人	19人	応用情報技術者試験	19人	2人																						
データベーススペシャリスト	1人	1人	マルチメディア検定ベーシック	33人	25人																						
マルチメディア検定エキスパート	35人	3人																									
<p>（備考）（任意記載事項）</p>																											

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
116人	12人	10%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>不適応・意欲欠如、心神耗弱・疾患、就職、社会的不適合等</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	IT スペシャリスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,780 時間	1,800 時間	570 時間	1,410 時間	時間	時間
			3,780 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		102 人	0 人	4 人	1 人	5 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。
成績評価の基準・方法
(概要) 本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
(概要) <卒業の認定方針> 教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。 ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <実施に係る取組> 「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。 なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。
学修支援等
(概要) 中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																											
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																								
38人 (100%)	1人 (3%)	32人 (84%)	5人 (13%)																								
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>(株)アテナシステムズ、(株)東海シーオーエーエス、(株)エヌ・エヌ・ビー、クレストテクノロジー(株)、TOPPANエッジITソリューション(株)、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)ライジング、神村電機工業(株)、(株)ビーネックスソリューションズ、小林クリエイト(株)、日本テクノストラクチャア(株)、(株)スターシステム、(株)エイジェック、サンテクノ(株)、(株)システムリサーチ、トーテックアメニティ(株)、キングラン東海(株)、(株)ヨコタエンタープライズ、(株)エルハンド、クレストテクノロジー(株)、(株)光和マイクロプロジェクト、(株)SCC、(株)フューレックス、(株)シーエスイー、NTPシステム(株)、(株)ワキタ商会、(株)エディオン他</p>																											
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルートスタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。</p>																											
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本情報技術者試験</td> <td>36人</td> <td>18人</td> <td>応用情報技術者試験</td> <td>47人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>ITサービスマネージャ</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>SEA/J基礎</td> <td>40人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>Webデザインベーシック試験</td> <td>8名</td> <td>5名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数	基本情報技術者試験	36人	18人	応用情報技術者試験	47人	5人	ITサービスマネージャ	1人	1人	SEA/J基礎	40人	27人	Webデザインベーシック試験	8名	5名			
資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数																						
基本情報技術者試験	36人	18人	応用情報技術者試験	47人	5人																						
ITサービスマネージャ	1人	1人	SEA/J基礎	40人	27人																						
Webデザインベーシック試験	8名	5名																									
<p>（備考）（任意記載事項）</p>																											

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109人	4人	3%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>不適応・意欲欠如、心神耗弱・疾患等</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	IT (情報技術) 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,460 時間	1,140 時間	540 時間	780 時間	時間	時間
			2,460 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		51人	0人	3人	0人	3人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。
成績評価の基準・方法
(概要) 本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
(概要) <卒業の認定方針> 教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。 ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <実施に係る取組> 「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。 なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。
学修支援等
(概要) 中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																											
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																								
31人 (100%)	8人 (26%)	22人 (71%)	1人 (3%)																								
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>神村電機工業(株)、(株)ヨコタエンタープライズ、関越ソフトウェア(株)、(株)スターシステム、クリアソリューションズ(株)、日本情報産業(株)、パシフィックコンピュータ(株)、(株)フューチャーイン、関越ソフトウェア(株)、(株)アテナシステムズ、(株)アプライド・システムズ、(株)フューチャーイン、(株)エヌイーシステム、サービス&セキュリティ(株)、(株)アイガ、(株)フジ勢、(株)スタイルシステム、(株)MDロジスシステムソリューションズ他</p>																											
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルートスタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。</p>																											
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本情報技術者試験</td> <td>19人</td> <td>12人</td> <td>ITパスポート</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>応用情報技術者試験</td> <td>12人</td> <td>3人</td> <td>情報処理安全確保試験士試験</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>SEA/J基礎</td> <td>25人</td> <td>17人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数	基本情報技術者試験	19人	12人	ITパスポート	3人	3人	応用情報技術者試験	12人	3人	情報処理安全確保試験士試験	1人	1人	SEA/J基礎	25人	17人			
資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数																						
基本情報技術者試験	19人	12人	ITパスポート	3人	3人																						
応用情報技術者試験	12人	3人	情報処理安全確保試験士試験	1人	1人																						
SEA/J基礎	25人	17人																									
<p>（備考）（任意記載事項）</p>																											

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	6人	9%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>不適応・意欲欠如、心神耗弱・疾患、就職等</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ICTビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,370時間	990 時間	540 時間	840 時間	時間	時間
			2,370時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		14人	0人	2人	0人	2人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。実施する授業科目については、「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法が統一されている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>本学ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価（秀・優・良・可・不可）を設けることで客観的な指標としており、これらについては学生生活の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>中途退学への取組みとして、担任、学年主任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）					
卒業生数	進学者数		就職者数 (自営業を含む。)	その他	
	5人 (100%)	0人 (0%)		5人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) IT業界、製造業、商社、販売業 つばめ交通協同組合、(株)イズミ、(株)勝野製菓、TOPPAN エッジ IT ソリューション(株)、 (株)ブルーボックス他					
(就職指導内容) 就職担当とクラス担任が連携し、就職年次以前より就職希望調査、カウンセリング、模擬面接、模擬試験、求人情報提供、履歴書の書き方からリクルートスタイルセミナー、メイクアップセミナーなど可能な限り具体的に個別対応している。					
(主な学修成果(資格・検定等))					
資格・検定名	受験者数	合格者数	資格・検定名	受験者数	合格者数
日商簿記検定3級	9人	4人	MOS Word	5人	5人
MOS Excel	5人	5人	MOS PowerPoint	5人	5人
MOS マスター	5人	4人	VBA エキスパート	5人	2人
(備考) (任意記載事項)					

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合情報(大学併修)学科	100,000 円	364,000 円	442,000 円	
ゲーム学科	150,000 円	588,000 円	482,000 円	
ITスペシャリスト学科	150,000 円	588,000 円	482,000 円	
IT(情報技術)学科	150,000 円	588,000 円	482,000 円	
ICTビジネス学科	150,000 円	588,000 円	482,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・本校独自の奨学金制度があり、該当者は入学時の前期学費を減免している。 ・入学時に高校での資格等の取得状況により前期学費を減免する制度がある。 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ncs.ac.jp/ninka/file/hyouka2024_ncs.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 企業委員、卒業生、地域住民委員から構成される委員が、学校の自己評価結果をもとに、学校運営を評価する。主な評価項目は、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献である。その評価結果を教育活動その他の学校運営改善等に生かし、学校運営の客観性と透明性を高めることを目的とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
中部IT協同組合 副理事長	R6.4.1～R7.3.31	業界団体役員
㈱ハーモネット 取締役会長	R6.4.1～R7.3.31	企業委員
株式会社エスシーシー 中京オフィス長	R6.4.1～R7.3.31	企業委員
株式会社エスシーシー 部長	R6.4.1～R7.3.31	企業委員
卒業生 (平成2年度卒業)	R6.4.1～R7.3.31	企業委員
光陽カメラ	R6.4.1～R7.3.31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ncs.ac.jp/info/pdf2024//info9.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ncs.ac.jp/info/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H123310000348
学校名 (〇〇大学 等)	名古屋情報メディア専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	株式会社エスシーシー

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		107人	110人	122人
内訳	第Ⅰ区分	67人	64人	
	第Ⅱ区分	26人	27人	
	第Ⅲ区分	14人	19人	
	第Ⅳ区分	人	人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				123人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	13人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	14人	人	人
計	27人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。